

特集

# 子どもたちの 学力向上のために



河原中学校と河原幼稚園との交流事業

本市教育委員会では、「学力向上推進委員会」を立ち上げ、教育現場の状況やさまざまな調査結果などをもとに、子どもたちが「確かな学力」を身につけるための方策について検討を重ねています。

今回は、「学力向上推進委員会」の協議を受け、学力向上のためのポイントと、事業の推進状況について紹介します。

## 学習の習慣化

学力をつけていく上で、最も重要なポイントは**学習の習慣化**です。

「継続は力なり」という言葉があるように、子どもたちの学習習慣は、基本的な生活習慣と同様に家庭や地域でしっかりと身につけさせる必要があります。グラフ(5ページ参照)は、家庭学習の習慣と正答率との相関関係を示したものです。どの学年においても、学習習慣の有無が大きな差となつて現れています。学習を毎日するという習慣がなければ、確かな学力は身につけません。

学習習慣を身につけさせるために欠かせないのが、環境の整備です。「学力の向上」という共通の目標のために、学校・家庭・地域が、3人4脚で足並みをそろえて、人的・物的環境の整備に取り組むことで、効果はより大きく・深く・広くなるものと考えます。

学校・家庭・地域を協働させるために、次のような方向が必要だと考えています。

①学校を中心に家庭や地域でも